



特産品を支える おばちゃんパワー



ゆずの皮むき作業(日出づる里活性化組合・穂積区)

すゑのころ

☆納豆は夜、喰え!



納豆

が身体に良いことは
知っていますよね!

納豆にはナットウキナーゼという血液をサラサラにしてくれる成分が含まれており、眠っている時間帯に血液がドロドロになるのを防いでくれるので、血栓ができるリスクを減らしてくれるそうです。また成長ホルモンは睡眠中に分泌されるので、その時に役立つ成分も多く含まれているそうです。

岐阜大学や秋田大学で研究されています。



12月定例会で決まったこと ②

質疑(峡南医療センターほか) ③

9人が町の課題を問う ⑦

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



12月定例会 で決まったこと

台風21号、24号爪痕残す

災害復旧費に1億740万円

補正予算 1億5242万円

補正後の予算総額 93億9000万円

平成30年12月定例会を12月7日から14日まで、8日間の会期で開催した。

〔おもな一般会計補正〕

新庁舎建設基本設計業務	2794万円
東別館和室屋根改修工事費	223万円
保育所広域入所・施設型給付費	1979万円
危険木伐採工事費	937万円
土地開発基金土地購入費	464万円
橋梁耐震補強設計業務など	△1320万円
仙洞田1号線修繕工事費など	555万円
大柵大久保線舗装工事費	1924万円
大柵大久保線物件補償など	△1924万円
町有住宅鰺沢団地室内改修工事費	150万円
鰺沢小、増穂南小ブロック塀撤去改修工事費など	685万円
ますほ文化ホール污水管改修工事費	180万円

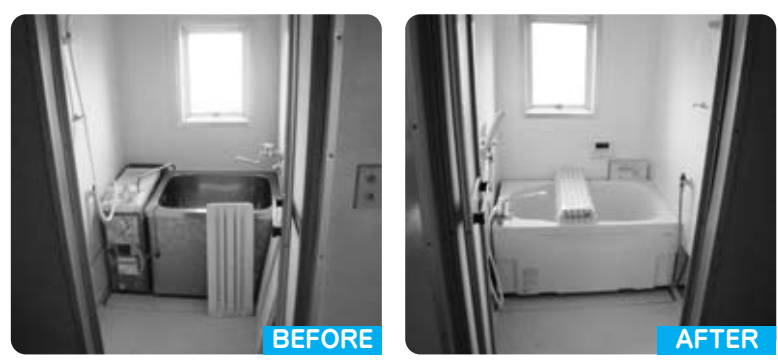
町民交流広場陸上競技用備品購入費など	2150万円
農地農業用施設災害復旧工事費	740万円
公共土木施設災害復旧工事費	1億円
職員など人件費	△4913万円
その他	618万円



設置後約50年が経過したブロック塀（鰺沢小）



台風の猛威（五開区）



町有住宅鰺沢団地の室内改修工事

人事

人権擁護委員（任期：31年4月1日～）

再任 大森きよ子（青柳町区）

再任 雨宮 俊夫（鰺沢中区）

（敬称略）

請願採択

富士川町各機関における非行政書士行為排除の徹底を求める請願

- ①窓口において、申請者、届出人などの本人確認の徹底
- ②窓口において、申請、届出などを代理または代行する者が行う場合、法定代理人であるかの確認の徹底

おもな質疑

■ 峡南医療センター（富士川病院・市川三郷病院）

青柳光仁議員

平成27年12月議会で、1億5000万円の長期貸付があった。今回で2度目だが、今後もあるのか。

町長

病院の経営は、状況に応じてやっていかねばならない、資金不足比率が、さらにまた10%を超えるようなら、今後も解消していかなければならないと思っている。

成田 守議員

急に1億2500万円を短期借入から30年の長期借入へ借り替え申請だが、なぜ今、変更の申し入れがあったのか。

財務課長

峡南医療センターは、平成29年度に資金不足比率が12.4%になった。10%を超えると企業債の借り入れが困難となる。今年度の短期貸付金のうち、1億2500万円を長期に替えることにより、資金不足比率を10%未満に抑えられ、借り入れができ、医療機器などの整備も可能になる。

笹本寿彦議員

経営状況が厳しく苦しいのは理解できるが、判断材料に乏しく、理解ができないが。

町長

峡南医療センターは、運転資金がなく、毎年、両町から単年度貸し付けで借りて、それを返すために銀行から借りて、そしてまた銀行へも返している。30年度は13億円ほど必要になるが、すべて単年度貸し付けだと病院で借り入れができなくなる。13億円の総額は変えていないが、両町1億2500万円ずつ2億5000万円を長期にして返済が延びる分、病院で必要とする医療機器の買い替えや整備ができるので、事業に期待できる最適の案だと思っている。

笹本寿彦議員

5年据え置き30年の長期貸付だと、議員の任期終了後から返済が始まる。ここで承認するというのは無責任だと思うが。

町長

30年返済は長期間だが、「負担の公平性」「財政の平準化」を図るため、両町で長期貸し付けに変更して、資金不足比率をクリアできるように支援をしていく。

■ その他の質疑

笹本寿彦議員

町長・教育長・町議会議員の期末手当を上げるとのことだが、次年度は全体の事業費予算を一律10%削る予定だと聞いている。また、児童センターが完成し、いきいきスポーツ公園も稼働するのに備品費用が2000万円以上かかる中、なぜ、この時期に上げる必要があるのか。

財務課長

期末手当等を改正するのは、人事院勧告・山梨県勧告を鑑み改正する。人事院勧告というものは、社会一般情勢に適応した適正な給与を確保することにより、特別職等と議会議員の報酬改正も同じよう引き上げる改正が必要である。

(4ページに続く)

質疑のつづき

堀内春美議員

施設型給付費等の1979万円とは何か。

子育て支援課長

町外の保育所（園）と、町内の私立保育園へ通っている子どもたちの保育所（園）への支払いである。

堀内春美議員

施設型給付費の対象は何人分なのか。

子育て支援課長

106人分、一人当たり18万6千円である。

堀内春美議員

土地開発基金土地購入費464万円は、どこの土地を購入したのか。

土木整備課長

第4保育所東側の土地である。

堀内春美議員

土地売り払い代金332万1千円とはどこの土地を売却したのか。

管財課長

旧増穂西小学校の敷地で、面積2692㎡の売却代金である。

長澤 健議員

財産管理費の委託料、新庁舎建設基本計画の基本設計2290万円、業務内容、委託内容は何か。

管財課長

国交省の設計業務の積算基準により算出したもので、業務内容は今後プロポーザルにより、町と設計協議を行い基本設計業務を完成させる。

青柳光仁議員

町民交流広場（いきいきスポーツ公園）備品購入費2023万円の内容は。

生涯学習課長

陸上競技用備品25種類、サッカーゴールなど8種類である。内容は陸上競技の16人用審判台、成人用と小学生用のハードル、スターティングブロック、走り高跳び用支柱・マット、レーンナンバー標識などであり、サッカーゴールは、一般用・ジュニア用、その他給水ローラーも予定している。

鮫田洋平議員

農業委員会費に12万5千円の補正がされているが、緊急性があったのか。

産業振興課長

農業委員と農地利用最適化推進員の活動が決定し、報酬として計上した。

鮫田洋平議員

住宅管理費の改修費150万円の改修内容と何部屋を改修するのか。

都市整備課長

町有住宅鯉沢団地の1部屋であり、浴室の改修、トイレや台所などの軽易な改修工事である。

鮫田洋平議員

学校費のブロック塀撤去改修工事は、鯉沢小学校、増穂南小学校であるが、どのようなブロック塀で長さはどのくらいか。

教育総務課長

どちらも設置後50年以上が経過し老朽化している。鯉沢小学校は156m、増穂南小学校は51mである。

条例改正

7議案が条例改正として提案され承認可決されました。

- **富士川町職員給与条例の一部改正**
人事院および山梨県人事委員会勧告に伴うもの
- **富士川町長等の給与及び旅費条例及び富士川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正**
一般職の職員の期末手当および勤勉手当の率の改正に伴うもの
- **富士川町児童センター条例及び富士川町児童クラブ条例の一部改正**
富士川町ますほ児童センターの移設に伴うもの
- **富士川町都市公園条例の一部改正**
都市公園の機能増進を図るため、公園管理者以外の者に公園施設を設置し、または管理させることができるよう改正するもの
- **富士川町簡易水道給水条例の一部改正**
簡易水道料金の改定に伴うもの
- **富士川町営農飲雑用水施設の管理及び給水条例の一部改正**
営農飲雑用水料金等の改定に伴い、所要の改正に伴うもの
- **富士川町ますほ文化ホール条例の一部改正**
富士川町ますほ文化ホールの利用料金の見直しに伴うもの

公表します 議員の賛否

平成30年12月定例会 審議した議案とその結果

議案名	秋山仁	樋口正訓	笹本寿彦	井上和男	望月眞	秋山稔	成田守	小林有紀子	深澤公雄	青柳光仁	堀内春美	鮫田洋平	長澤健	結果
職員給与条例の一部改正（人事院及び山梨県人事委員会勧告に伴うもの）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長等の給与及び旅費条例及び町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（一般職員の期末手当及び勤勉手当の率の改正に伴うもの）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (12:1)
児童センター条例及び児童クラブ条例の一部改正（児童センターの移設に伴うもの）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
都市公園条例の一部改正（都市公園の機能増進を図るため）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
簡易水道給水条例の一部改正（簡易水道料金の改定に伴うもの）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
営農飲雑用水施設の管理及び給水条例の一部改正（営農飲雑用水料金の改定に伴うもの）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
ますほ文化ホール条例の一部改正（ますほ文化ホールの料金見直しに伴うもの）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
公の施設の指定管理者の指定（富士川町社会福祉協議会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
公の施設の指定管理者の指定（平林活性化組合）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
過疎地域自立促進計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町民体育館解体工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦（大森さよ子・雨宮俊夫）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成30年

第3回臨時会

12月27日、第3回臨時会を開催し、契約締結案件2件と専決処分承認案件1件を審議し、原案のとおり可決・承認した。

●リニア高下工事用道路整備工事請負変更契約の締結について

92日間の工期の延期を行うもの。

●富士川町児童センター建築主体工事請負変更契約の締結について

衛生面の向上に伴うユニットシャワーの設置など。

●専決処分の承認を求めることについて（平成30年度富士川町一般会計補正予算）

9月30日、10月1日の台風24号に伴う災害復旧事業のための補正予算853万4千円。

組合議会報告

平成29年度決算

会計名	決算額
一般会計	16億6417万円
介護保険特別会計	2億2261万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	1020万円

各町の負担金

富士川町	3億4647万円
市川三郷町	3億6038万円
早川町	6786万円
身延町	3億5355万円
南部町	2億3309万円

10月31日、峡南広域行政組合議会定例会が開催され、29年度決算認定3件、専決処分の承認1件が原案どおり可決された。また、副議長に市川三郷町の村松武人議員が再任された。なお、常任委員会および議会運営委員会の選任も行われた。

峡南広域行政組合

平成29年度決算総括表

会計名	区分	決算額	富士川町負担金
一般会計	歳入	2138万円	328万円
	歳出	1957万円	—
し尿処理事業	歳入	2億3356万円	4199万円
	歳出	2億1206万円	—
火葬事業	歳入	1億9485万円	1844万円
	歳出	1億8511万円	—
合計	歳入	4億4980万円	6371万円
	歳出	4億1675万円	—

11月7日、三郡衛生組合議会定例会が開催され、議長に市川三郷町の三神貞雄議員が、議会運営委員会の副委員長に富士川町の青柳光仁議員が選任された。29年度各事業の決算認定3件が原案のとおり承認された。

三郡衛生組合



栃木県野木町議会



タブレットの操作体験の様子
(長野県御代田町議会)

ICT推進部会

(タブレット端末を活用した議会運営)

ICT推進部会では、今年度は8月に甲州市、10月に栃木県野木町、11月に長野県御代田町、北杜市、茨城県美浦村の先進地視察として、5つの自治体の研修を受け入れました。



井上和男 議員

問 児童センターの補償額確定はいつか

答 関係課と連携し交渉展開



完成間近な新児童センター

問 まずは児童センターへのＪＲ東海の補償内容は、子育て支援課長 まずは児童センターの補償は、その機能を廃止したり、中断したりできない公共施設のため、公共補償基準に基づくと公共補償であり、現在ＪＲ東海と協議中である。この公共補償とは、公共施設に対する損失の補償であり、財産価値の減耗分を除いた

問 全てが補償対象となる。補償額の確定はいつごろになるか。
答 子育て支援課長 補償交渉は町民体育館、利根川グラウンドなど複数施設と共通する事項があり、関係課と連携をとりながら交渉を進める。
問 新児童センターは現施設にない機能が追加されているが、追加機能部分への

補償はどうなっているか。
答 子育て支援課長 主な追加機能は、現施設に対し「敷地面積は約2.5倍」「建築面積約1.5倍」「遊戯室に冷暖房完備」などで、追加機能は補償対象外である。
県内初のひきこもり支援事業開始
問 平成30年8月4日付山日新聞に興味深い記事が掲載された。市町村としては県内初のひきこもり支援事業を9月より開始する。事業開始より3カ月経過したが、事業の趣旨と課題は。福祉保健課長 誰も孤立させない地域づくりの一環として、9月1日よりスタートした、ひきこもり支援に特化した地域活動支援センター事業は、ひきこもりの長期化・高齢化の予防、早期発見、早期対応、さらに当事者および家族などの相談窓口と訪問も含めた、継続的支援を目的とする。月平均30〜35件の相談対応があり、既に就労につながっ

た方もでている。反面、課題としては今後のニーズ増加への対応や、居場所づくりへ向けスタッフ不足が上げられる。
問 課題解決に向けた取り組みは。
答 福祉保健課長 今後増加が予想される相談支援や、気軽に立ち寄ることができ、社会復帰のきっかけとなるような居場所づくりは、現在の専門職による継続的な相談、訪問支援の充実に加え、国が市町村事業として位置付けている、ひきこもりサポート事業を活用し対応していく。特に「ひきこもりサポーター養成講座」を開講し、ひきこもりに対する理解と基本的な知識を地域に普及し、地域のサポーターとして活動する。



相談室の看板

問 「ボロ電」の観光資源化は

答 魅力を付加しないと観光資源化は難しい



樋口正訓 議員



ボロ電の今昔物語

問 利根川公園に展示してある山梨交通「ボロ電」を、道の駅富士川に移転して観光資源の活用には、山梨交通か

都市整備課長 昭和61年6月に設置し、平成4年には廃止から30年の記念式典を開催した経緯があるので、現在の場所で常設展示を継続したい。観光資源に活用するには、山梨交通か

ら当時の車両や音の復元、さらに車両が動くなどの魅力がないと観光資源としては難しいと聞いている。

問 甲州富士川まつりの「懐かしのボロ電」展と、ボロ電展示場ボンネットパスの見学者などの状況を、町は把握していたか。

都市整備課長 山梨交通から、児童センターのメイン

会場では300人、ボロ電展示のサブ会場に120人程度見学者がいたと聞いている。

問 移転が無理であれば関連のイベント開催などを通じて、利根川公園とその周辺地域の活性化を図りたいが。

町長 現在、移設展示は考えていない、今の展示車両は当時の物と若干違う。山梨交通が当時の色に直したとの話もある。ボロ電にはロマンがあり恋の電車でもあった。いくつもの恋が芽生え花が咲き、結婚した人もいると聞いている。増穂から甲府までのボロ電の歴史を、富士川町だけでなく山梨の観光に結び付け、今後も山梨交通とも連携していきたいと考える。

ふるさと納税の返礼品は

問 穂積地区の特産柚子を活性化組合との連携で、収穫体験と小室山と周辺の里山散策、柚子を使った食事の提供などをセットにした

商品化ができないか。

政策秘書課長 返礼品を贈ることは町の宣伝になるので、これを機会に体験型の返礼品を増やし、特産品の収穫体験と史跡めぐりを組み合わせた商品を、町内業者に提案していきたい。

ご当地ナンバープレート

問 独自の形状や図柄のプレート

をバイクや軽自動車に導入できないか。

税務課長 観光振興の観点から採用する自治体が増えていて、県内では甲府市など10の自治体が入入している。本町で導入をする場合、費用が現行の1枚1100円が3300円程度になり、初期費用として金型製作費が100万円程度必要となる。動く広告塔として町のPRのひとつに有効とも考えるが、現時点での導入は考えていない。



青柳光仁 議員

問 「一般社団法人ふじかわ」の後継者育成は

答 今後も町職員を出向させる

問 法人化の目的の一つに、後継者育成がある。現在の対応状況は。

生涯学習課長 運営に町の関与が必要であり、後継者育成については、今後も町の職員を出向させて、良質な舞台芸術が提供できるように努める。

問 経費削減する中、法人に後継者を採用させる考えは。

町長 退職職員を再雇用という形で、法人が採用し人件費は削減できる。幅広い住民ニーズに応えるため、職員に公演事業と施設管理もさせる。今後も職員を出向させる。

問 この法人には定年の規定はあるか。

生涯学習課長 定年は60歳だが、65歳まで継続雇用できる。

問 出演交渉は、3カ月や半年で引き継げるものではない。法人に経験者採用を依頼する考えは。

町長 自由な運営を文化ホールにまかせながら、今後

も役場職員を育成し、理事長職を作っていく。

まずは文化ホールの人件費削減は

問 「一般社団法人ふじかわ」を設立し、まずは文化ホールの人件費の削減を図るとしたが、28年度と29年度の比較実績は。

生涯学習課長 28年度は、役場正規職員2名、嘱託職員2名で2176万円。29年度の法人決算では、再雇用職員1名、法人職員2名で831万円となり、1345万円の減となっている。

問 29年度と30年度の比較では、指定管理料が減額予算となっているが、人件費減少によるのか。

生涯学習課長 人件費減少ではない。当該年度の自主事業やイベントの公演料と収入により指定管理料も変わる。

問 指定管理料は、法人と協議し一定の範囲内で努力するものと考えている。指定管

理料を一定にする検討は。

町長 指定管理料については、公演内容を「文化ホール運営委員会」に決めてい

ただくので、収入・公演料で毎年動く。一定額を示し、ニーズに応じた公演ができるように権限を渡している。



冬晴れの文化ホール

問 峡南医療センターへの支援体制は

答 今後も財政・福祉ともに支援していく



秋山 仁 議員



今後も町の支援が必要となる峡南医療センター

問 峡南医療センターへの今後の町の支援体制は。
福祉保健課長 現在、財政支援として負担金と貸付金の支援をしている。地域住民の健康と命を守る上で重要なのは欠かせない病院と老健

施設を運営している。これまでと同様に経営状況を精査し、効果的な財政支援を行うとともに、改革プランの達成に向けた取り組みの支援連携を図る。
問 アクシヨンプランの進捗よく状況を、町ではどこ

まで把握しているか。

福祉保健課長 幹事会で四半期ごとに進捗よく状況を把握し、平成29年度状況を今回評価した。

問 在宅訪問看護体制・精神科新設・認知症初期集中支援チーム新設の3案を町から提案したらどうか。

福祉保健課長 課題である認知症対策、在宅医療ケア訪問看護などは必須であり、地域のニーズに沿った役割を果たすよう期待している。同センターに地域の状況を伝え、体制に反映していただけるよう支援していく。

問 金融支援として、今後10年間にわたって5億円超の経費圧縮が重要と思う。負担金、交付金、長期前受金戻入金は新規設備資金、借入金などの返済に向けたらいかがか。

町長 公営企業体であるため両町が50%ずつ出資しており、設置者会議を定期的に行いながら意見を言っていく。提案には人的体制ができていないし医師不足も

あり、また病院規模もあるので企業長を中心に考えていくと思う。医療センターは地域医療の核であり、町はそれを支えていく役割である。今後も財政・福祉支援をしていく。

歴史資産活用に ついて

問 伝統芸能、文化遺産、古民家など、新たな町指定文化財の発掘への取り組みは。

生涯学習課長 文化財調査は行っているが指定にはなっていない。いまだ未発掘な文化財があると思う。指定文化財としてふさわしいか調査し検討する。

問 歴史遺産のマスタープラン策定計画は。

生涯学習課長 文化財を後世に残していくことは重要と考える。国では文化財継承のため地域一体で計画的に保存・活用を目的に「文化財保存活用地域計画」策定の指針をまとめている。今後示される指針を参考に、計画作りに向けて検討する。



笹本寿彦 議員

問 議会棟を改修し 新庁舎建設費の節約を

答 議会の総意であれば
残してもかまわない

新庁舎建設位置は

問 現本庁舎位置での建て替えとあるが、隣接する民有地を買収するのか。

町長 2軒に買収交渉を進めている。

問 専門家に現地を見積もってもらったところ、諸費用と建物解体、整地などで約3億円かかるとのことだった。町は、どの程度に見積もっているのか。

管財課長 具体的な金額はまだ算定していない。

問 厳しい財政状況の中で、幹線道路沿いの一等地を買収して町民の理解が得られるのか。費用対効果の説明を。

管財課長 町の求める新庁舎建設にメリットがあると考えている。

問 新庁舎が完成し、支払いや返済が始まるころには、町長、議員、幹部職員は任期を終えて責任をとれないが。

町長 特例債など財源があ

るうちに、利用しやすい庁舎を建てるのもわれわれの責任である。

議会棟改修で 費用節減

問 耐震化されている議会棟を改修すると、経費も多大に節減できて便利に使えると考えるが、解体撤去するのか。

管財課長 経年劣化しており、改修しても議会が必要とする機能を備えるのは困難なので撤去する。

問 年間4回の議会で、使用するのは延べ20日間ほどだ。新庁舎内に議場を配置すれば、億単位の多額な費用がかかる。費用対効果の試算は行ったのか。

管財課長 新庁舎の設計に大きな制限が掛かるから改修は行わない。しかし議会棟の扱いや新庁舎での議会機能などは、議会に投げかけている。

町長 設計業者と協議しながら進めていくが、議会の総意であれば残してもかま

わない。

問 町長が議会に対し一言「今回は我慢してくれ」と言えば議会も納得し、後世に残る「大英断」になるはずだが。

町長 議会制民主主義において、議会の実施機関は議

長である。町長が私的な考えを言えば根幹が揺るぐ。保育所や小中学校も老朽化が進んでいる。全部はできないが苦しい中であってもやるべきことは実行していく。



年間で20日ほどしか使用しない議場

問 JR身延線鯉沢口駅前の 周辺整備を

答 JR東海と協議して 検討していく



望月 眞 議員



閑散としたJR鯉沢口駅前



町道脇に駐輪された自転車

問 駅構内や周辺地に、富士川町の案内板を設置できないか。
産業振興課長 駅構内やJR敷地内への案内板の設置は有料であり、周辺には町有地も存在しないことから、現段階での設置は難し

いと考えている。周辺の民有地には空き地もあるので、今後、案内板の設置が可能か調査していく。
問 通学・通勤者を中心に、屋根付きの公営駐輪場設置を望む声が多い。公営駐輪場を設置できないか。

政策秘書課長 町では、沿線地域の自治体で構成する身延線沿線活性化促進協議会を通じて、JR東海に対して、構内社有地の駐車場を駐輪スペースとして無償で利用できるよう要望したが、利用者がいることから、それ以外の場所で利用計画のない用地であれば可能な限り協力したいとの回答を得た。借地料は原則有料なので、無償で駐輪場が確保できるよう引き続きJR東海と協議していく。
問 駐輪場として、町内の民間地の借用を検討したかどうか。また、周辺に防犯灯を増やしたらどうか。
政策秘書課長 身延線利用者のための駐輪場なので、社有地内への設置の要望を強くしていきたい。防犯灯の設置に関しては、隣接する市川三郷町との協議が必要となる。また、維持管理負担が必要となるので、区や組との協議も必要となる。より良い環境づくりに努めていく。

幼年期教育の 推進・充実

問 現在の幼年期教育の取り組みや、これからの幼年期教育の推進・充実に向けての具体的施策は。

子育て支援課長 保育所では、「外部講師による運動教室、親子のふれあい遊びなどによる体力や運動能力の向上」「各園の特色ある保育の充実と展開」「栽培・収穫・調理などの体験と環境への意識を通じた食育の推進」などを進めている。
児童センターでは、保護者同士の情報交換、親子のふれあいを中心とした活動を行っている。今後は、建設中の町民交流広場や町民図書館などを活用し、体力向上や豊かな情緒を育む取り組みを進め、保育所・児童センターおよび地域との連携を図りながら、子どもたちの健全育成に努めていく。



小林有紀子 議員

問 避難路沿いのブロック塀対策は

答 撤去改修補助制度を周知する

問 大阪北部地震の、ブロック塀倒壊での犠牲者が出た事故を受けて、国は31年1月から、避難路の一定規模のブロック塀などの耐震診断を義務付ける。現在の町のブロック塀撤去改修補助制度の活用は2件だが、今後の町の対応は、**都市整備課長** 国の制度に合わせて広く周知する。

問 災害時は体育館が避難所となる。新町民体育館にエアコンの設置は、**生涯学習課長** 建設検討委員会の提言にもある。今後の整備計画の中で検討する。

問 地域住民による「地区防災計画」の作成に向けて、県のモデル地区に鯉沢中区上北町自主防災組織が指定されたが、町民一人ひとりの防災への意識を高めるために、災害時に個人がとるべき避難行動「マイ・タイムライン」を活用した防災講座は、**防災課長** 効果的な手法と考えるので検討する。

小児がんの早期発見は

問 小児がんの中に網膜芽細胞腫という眼のがんがある。早期発見のため、乳幼児健診の医師診察欄に「白色瞳孔」の追加や、保護者への意識啓発に繋げる取り組みは、**子育て支援課長** 母子健康手帳の問診票の活用と、パンフレットの配布やポスターを展示する。「小児がん診断ハンドブック」の活用を検討する。

児童虐待防止対策は

問 30年3月の児童虐待死事件を受け、国は緊急対策を実施した。本町の現状と推移・対応は、**子育て支援課長** 29年度の相談対応件数は16件。例年同じくらいの件数。まず担当課で安否確認をし、個別ケース会議で検討し対応している。

問 大変に深刻な問題だ。



自主防が真剣に取り組む鯉沢中区(上北町)の防災講座

児童相談所にすぐに繋がっているのか。**子育て支援課長** ケースにより対応している。

問 社会から虐待をなくすには、発生予防の視点が大事である。暴力や暴言を使わずに子どもを育てる技術

を親に伝える「コモンセンス・ペアレンティング(CSP)」を活用した「怒鳴らない子育て練習講座」を行い、児童虐待の予防や回復を目指す考えは、**子育て支援課長** 効果的と考え周知する。

問 借入金100億円の返済計画は

答 償還計画表に従う



堀内春美議員

問 7大事業118億円のうち、100億円と巨額な借入金で、この町にとって本当に大丈夫なのか、町民の負担はどうなっていくのか。起債許可団体にならないか町民は心配しているが、100億円の返済計画は。
財務課長 7大事業における事業費および地方債などについては、想定金額であり見込みの借入金である。地方債借入時には償還計画表が示されており、それに従い償還することとなる。

問 2040年には消滅する自治体が全国で896市町村。山梨県は23番目、山梨県の中で富士川町は8番目となっている。この現実をしっかりと見極め、今後の町の運営をしていかなければならない。少子化で人口減少する中で、7大事業の大きな箱物建設が良いのか、将来の子どもたちの負の遺産にならないのか。
財務課長 7大事業は必要な事業だと考えている。大規模な建設事業ということ

で、この事業に掛かる経費は返済額の平準化や世代間の負担公平などにより、住民サービスに影響を及ぼさないよう、地方債を利用する。
問 消滅する自治体として富士川町が上位にランクされているが、町は何か対策を考えているのか。
町長 人口が減ったから消滅した団体はない。そういう事態になった時に、住民皆で知恵を出して次の方策を考えていく。

問 新庁舎建設計画の現状は。
管財課長 今後、プロポーザルにより設計者の選定を行い建設基本設計を行っていく。

問 新庁舎は現在の敷地内であるという説明ばかりで、その中のどこというのは決まっていまいかという回答ばかり。新庁舎検討委員会の答申が全て決定なのか。
管財課長 プロポーザルによる設計者が、富士川町に必要な新庁舎の提案を行い、



基本計画で示された新庁舎整備の敷地

その提案をもとに町と協議しながら決定していく。
不登校の児童生徒に「町独自の居場所づくりを
問 不登校の児童生徒は。教育総務課長 年間30日以上欠席している不登校の児童生徒数は小学校で4人、

中学校で8人である。
問 その児童生徒が安心していられる町独自の居場所をつくる必要があると思うが。
教育長 峡南地域に設置されている適応指導教室「やまなみ教室」を参考にする。



成田 守 議員

問 かじかの湯の現状は

答 売り上げは減少
職員の接遇研修を行う



直営になったかじかの湯

問 今年4月から町営になり、この6カ月間の運営状況は。

産業振興課長 9月までの運営状況は、来場者前年同期で4500人減、収入で

約210万円下回る。減少要因はレジオネラ菌対応の休業、台風・施設修繕などによる休業が考えられる。

問 今後の運営体制は。

産業振興課長 ホームページによる情報発信や、観光エージェントへセールスを行い来館者の増加、町内などの利用を促すため訪問活動により誘客を図る。館内サービスの充実を図るためコスト意識を持って運営に努める。運営体制は当面直営で行う。

問 今の体制で改善ができるか。利用者から不満もあるが、職員を辞めさせたり替えることができない。現状で本当にやっていけるのか。直営で良いか、町の人たちの意見を取り入れながらやっていく方向も考えられるか。

町長 全体では減少しているが、1日単位で状況を見れば昨年より向上している。利用者から職員に対する不満も聞いているが、その都度かじかの湯へ伝え、改善

してきている。利用者を増やす努力をし、当面直営でやっていく。

職員教育はどうしているか

問 地域住民が運営に参加できないか、かじかの湯周辺の区長や、役員の考え方を取り入れることはできないか。

町長 そういう人たちの意見も取り入れながら、改善できるものは改善しながらやっていきたい。質問は地域の人が運営したいともとれるが、当面は直営で運営する。地域の皆さんで働きたい方がいれば、雇用していきたい。接客業務については接遇研修を行っている。

接客に不満の声がある場合は、その都度その責任者に伝えていく。これからも改善に取り組んでいく。

住んでみてどうでえ？

- ① 富士川町に住むことになったきっかけは
- ② 富士川町に住んでいる期間は
- ③ 富士川町の住み心地は
- ④ その他

富士川町へようこそ

穂積区 若林克友・美緒さん（スナンタ製作所）

① 福島で大震災および原発事故に見舞われ、札幌経由で本州に新天地を求めました。求める条件は住居と工房と材料庫が格安で借りられること。子どもが3人いるので「移住歓迎」「児童募集」などでインターネット検索していたところ、増穂西小学校の児童募集を発見。NA穂積をはじめ地元のみなさんにご尽力いただきました。

② 砂袋に越してきて4年です。

③ ここは5世帯しか住んでない静かな集落。全世帯が家族のように目を配り合い、子どもたちも集落全体を使ってダイナミックに遊びます。人が少ないので製作機械ほか、元気な子どもの生活騒音も大目にもてもらっています。

借りているのは築70年の広い古民家。音とスペースの余裕は子育て期にはありがたく、おおらかでいられます。漏水したり、屋根材が剥がれたり、隙間風が寒かったり、子どもの習い事の送迎が大変だったり、植えた玉ねぎが全部イノシシにやられ

たり、台風の際は怖かったりしますが、ここはいいところです。

④ 工房では、彫刻と家具を製作しています。彫刻は樹の節穴がメインモチーフ。来春完成する町の児童館にレリーフが入ります。家具製作はご予算に応じて構法や材料をご提案しています。展示室を併設していますのでご見学にどうぞ、砂袋へ。



家族と共に生きながら「生きる」を探求する製作をしています

平林区 上鶴恵子さん

① 娘の増穂西小学校入学に伴い移住しました。閉校前の最後の入学生となりましたが、一年間、素晴らしい教育環境で学ぶことができました。紹介いただいた知人にはとても感謝しています。

② 今年で5年目です。

③ 平林に住んでみて、とても歴史と伝統のある地域であることがだんだんとわかってきました。山に人が住んで山の手入れをしてくれているから、町に美味しい水が届けられたり、森の豊かさを享受しながら住むことができている。それは、今も昔も変わらないことだと思います。

そんな誇り高さ暮らしをされている平林の皆さんに可愛がっていただき、とても楽しく豊かに毎日を過ごしています。水や空気が美味しいのが最高です。

④ 人口はどんどん減る一方です。今ある豊かさを未来の子どもたちに手渡せる町づくりをお願いいたします。つつましさの中に、生きる美しい姿があ

るように感じています。そして、皆さんにぜひ平林に遊びに来ていただきたいです。夏は涼しく、冬の富士山は美しいです！



篤史さんは山岳ガイド、娘は5年生です